



# ちゃんめろだより

第21号

2013. 1. 31



発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙 10307-3/電話 0261-82-3100）

白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。



姫川（小谷村 雨中地区）

## 所長あいさつ



新年あけましておめでとうございます。

平成25年巳年が穏やかに始まりました。昨年暮れは大雪となり、大変心配しましたがその後、晴天に恵まれ、スキー場にはほどよく雪が降り、白馬村・小谷村にとって大変良い年が始まったのではないかと考えています。巳年は復活の年と言われ、長年低迷していた日本経済も脱皮の年にさせていただきたいと願っています。株価も上昇し、通貨も円安となっていることから、日本経済が好転することを祈っています。

政府が打ち出している防災減災対策の公共投資で、当所にも多くの補正予算が付く事が予想されますが、当地域は雪で工事期間が短いため、雪がとけたら直ちに工事に着手できるよう職員一同準備を進めたいと考えています。

昨年は小谷村に事務所を開設して70周年を迎え、盛大に式典を開催することができました。開催に当たっての関係各位のご協力に改めて感謝を申し上げます。

これからも諸先輩方が築き上げてきた歴史を引継ぎ、地元から信頼され、地域おこしの役割を担う砂防事務所となるよう職員一同一丸となり砂防施設の整備推進に努めて参りますので、本年も変わらぬご支援を賜りますよう宜しくお願い致します。

終わりに、本年が白馬・小谷の両村民にとって良き年になりますよう、また、災害のない平穏な年となりますようお祈り申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。

## 地域防災力の向上等に向けた意見交換会

1月17日（木）に糸魚川市において、国土交通省松本砂防事務所主催による「地域防災力の向上等に向けた関係機関との意見交換会」が開催されました。

当日は、松本砂防事務所管内の長野県と新潟県の市町村と県関係機関が一堂に会し、今後発生の可能性のある大規模土砂災害に対し、地域の防災・減災を図るため、平時からの行政機関間の関係の強化や防災力向上に向けた継続的な取組みについて意見交換が行われました。

会議では、今後の取組みとして、今年度は、①意見交換会（今回と2月下旬頃）及び合同防災訓練（糸魚川市で実施予定）を通じて、今後実施すべき連携した取組みや会議の方向性、モデル的な検討等を行うこと ②地域防災計画へ反映させるため、連携マニュアル案を作成することとし、次年度以降は、規約等を策定し、正式な会議を定期的実施することが決まりました。

今後の会議を通じて、行政各機関との連携を強化し、防災力の向上に努めていきたいと考えております。



### 現場紹介

工事名：雪崩対策工事

工事箇所：飯田地区 白馬村 飯田



今年度から白馬村飯田地区において雪崩対策工事(事業)を開始します。雪崩対策事業とは、雪崩防止施設等を設置することにより雪崩災害を防止し、雪崩による災害から人命(集落)を保護し、暮らしを守る事業です。

工事箇所は、地蔵の頭から北東側に下った斜面で、標高1,400m付近の平均傾斜35度程度と非常に急峻な斜面です。

また、山岳地帯であることから例年の最大積雪量は4~5mとなり、管内は勿論、国内でも稀にみる大規模な「雪崩予防柵」の工事となる予定です。今年の雪融けを待って、5月頃から工事を開始する予定ですが、雪のない工事可能な期間は10月までの6ヶ月間と非常に短いため、工事の完成には多年を要する予定です。



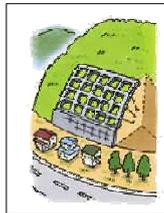
## シリーズ70周年 ~ 姫川砂防事務所管内の特徴と砂防事業

### (第7回) ○「砂防」とは(その3)○

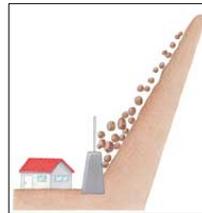
急傾斜地崩壊対策事業についてです。

急傾斜地崩壊対策事業は、がけ崩れが起きないようにしたり、崩れた土砂を受止め、人家などを守るためのものです。がけ崩れとは急な斜面が地中にしみ込んだ雨水や地震などの影響で突然に崩れ落ちることをいいます。その崩れ落ちるスピードは速く、破壊力も大きくて、崩れた土砂は斜面の高さの2~3倍に当たる距離まで届くことがあり、人の命を奪ったり家がめちゃくちゃに押しつぶされたりする悲惨な災害につながってしまいます。がけ崩れは、崖の上も下も危険です。

対策工事の内容は、雨による斜面のけずれやひび割れを防ぐため、雨が直接がけに当たらないように斜面にコンクリート枠を作り植物を植える法枠工や、コンクリートなどの壁で斜面を押しえたり、フェンス状の壁などで崩れた土砂を止める擁壁工があります。



< 法枠工 >



< 擁壁工 >

※ 資料提供：砂防広報センター